

壁紙施工要領

寒水石

ARV-501～506

—パールシリーズ—

A R R I V A L

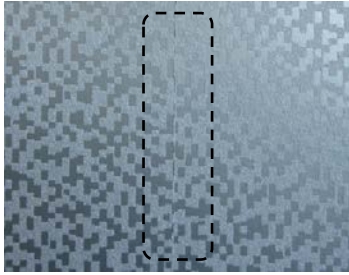
規格：有効幅93cm×50m乱

リピート：タテ40cm ヨコ46.5cm 無地貼り可

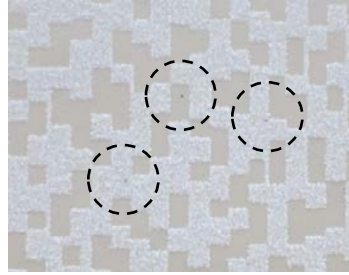
材料区分：無機質系壁紙

▶製品についての特記事項

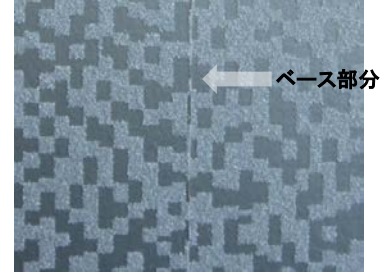
- ・天地マークは表面と裏面に入っています。ジョイントマークは表面に入っています。
- ・無地貼り可の製品です。
- ・ジョイント部分はカットにより、寒水石の柄部分が白くなり、目立つ場合があります。(※ARV-501～505)
- ・骨材が硬い為、試し切りをおすすめします。
- ・骨材の製法上、寒水石の黒い部分が混じる場合があります。予めご了承ください。



ジョイント写真 ARV-502(青)



寒水石の黒い部分 ARV-505(ベージュ)



ベース部分

1下地処理

- ・壁紙の厚みが薄い為、下地はできるだけ平滑に仕上げ、変色を避ける為、シーラー処理を行ってください。
- ・パテは下地材と同色のものを使用してください。

2糊付け

- ・施工糊は多めに塗布してください。付けだめはしないでください。
- ・本製品の施工には、「ウォールボンド100(原液タイプ)」をおすすめします。(※原液タイプの為、希釈しないでください。)
- ・希釈タイプの施工糊は糊メーカーの指示に従ってください。
- ・糊の付着に注意してください。製品の形状上、付いたら拭取りにくいです。
- ・表面に付着した糊は、清水で絞った布ですぐに拭き取り、最後にきれいな布で軽く叩くように乾拭きを行ってください。
- ・施工中はジョイント部分からの糊のはみ出しに十分ご注意ください。
- ・オープンタイムは季節や室内環境により目安時間が変わりますのでご注意ください。
- ・オープンタイム 5～15分 (付けだめ禁止) 乾燥・アイハグ防止の為、養生ケース又は養生袋に入れてください。
- ・糊付け後は折りジワが付かないように大きいたたみ、重ね置きをしないでください。
- ・壁紙が柔らかくなってから施工してください。

3貼り付け

- ・重量がある寒水石壁紙は破れないように取扱いに注意し、ゆっくり垂らして伸ばしてください。
- ・道具は柔らかい刷毛やウレタン製のソフトローラーなどを使用してください。硬い刷毛は表面を傷付けるおそれがあります。
- ・撫で付け・エア抜きはタテ方向を基本に行ってください。ヨコ方向の撫で付けは目隙の原因になりやすい為、控えてください。
- ・エア抜き作業時は骨材の剥落を防ぐ為に丁寧に行ってください。
- ・カッターナイフの刃が傷みやすいので、こまめに刃先を替えてください。
目安：30cmごとに刃を折り、新しい刃でカットしてください。また下敷きテープは必ず使用してください。
- ・ジョイント部分はカットにより寒水石の柄部分が白くなり、目立つ場合があります。
※気になる場合の補修方法として、施工後に清水を絞った布でジョイント部分を軽くおさえると、寒水石の粉が取れて緩和されます。
- ・ジョイント部分のローラーが当てられないベース部分は、ブラシ等で丁寧に撫で付けてください。
- ・ローラーを強くかけたり、表面を強くこすらないでください。

4施工後

- ・施工後、一週間程度は急激な空調の使用は避け、できるだけ窓を閉めて、自然乾燥を行ってください。
冷暖房などによる急激な乾燥は、目隙やはがれの原因になります。

三巾ほど施工後、問題のないことを確認した上で作業を進めてください。

製品に欠陥が見られた場合は、購入先までご連絡をお願いします。

2016.4

E03

壁紙施工要領

ガラスビーズ ARV-511～515

A R R I V A L

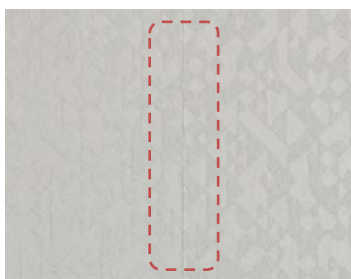
規格：有効幅91.8cm×12m巻

リピート：-

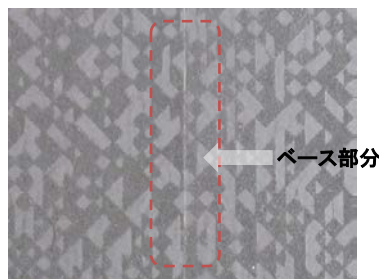
材料区分：無機質系壁紙

▶製品についての特記事項

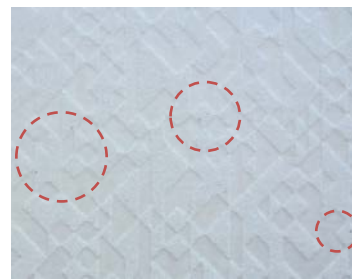
- ・両耳スリッター加工品（12m巻き）の製品です。
保管は端部の破損を防ぐ為、ヨコ置きが基本です。開封後は端部の汚れに注意してください。
- ・天地マーク及びジョイントマークは入っておりません。柄の上下は巻出し口を天方向として、糊を付けた順番に施工してください。
- ・この製品は基本的に突き付け施工となります。ジョイント部分は目立つ場合があります。
ジョイントマークがなく柄合わせができない為、ジョイント部分の柄は合致しません。ご了承ください。
※ガラスビーズは硬く、重ね切りが難しい製品です。カッターの刃の角度によりジョイント部分にささくれが生じることがあります。
- ・特に濃色壁紙（※ARV-513（緑）・ARV-514（茶）・ARV-515（黒））はジョイント部分で壁紙の小口（断面）が目立つ場合があります。
補修方法として毛筆ペン（淡い灰色）で白く目立つ部分を補修すると緩和されます。
- ・骨材が硬い為、試し切りをおすすめします。
以下の3色、カット部分はガラスビーズの柄部分が白くなります。（※ARV-513（緑）・ARV-514（茶）・ARV-515（黒））
- ・骨材の製法上、ガラスビーズ以外の不純物が混じる場合があります。予めご了承ください。（※ARV-511（白））



ジョイント写真(突き付け) ARV-511



ジョイント写真(突き付け) ARV-515



不純物写真 ARV-511(白)

1下地処理

- ・壁紙の厚みが薄い為、下地はできるだけ平滑に仕上げ、変色を避ける為、シーラー処理を行ってください。
- ・パテは下地材と同色のものを使用してください。

2糊付け

- ・施工糊は多めに塗布してください。付けだめはしないでください。
- ・本製品の施工には、「ウォールボンド100(原液タイプ)」をおすすめします。（※原液タイプの為、希釈しないでください。）
- ・希釈タイプの施工糊は糊メーカーの指示に従ってください。
- ・糊の付着に注意してください。製品の形状上、付いたら拭取りにくいです。
- ・表面に付着した糊は、清水で絞った布ですぐに拭き取り、最後にきれいな布で軽く叩くように乾拭きを行ってください。
- ・施工中はジョイント部分からの糊のはみ出しに十分ご注意ください。
- ・オープンタイムは季節や室内環境により目安時間が変わりますのでご注意ください。
- ・オープンタイム 10～15分（付けだめ禁止）
- ・通気性があり、糊付け後は乾燥の速い製品です。乾燥・アイハギ防止の為、養生ケース又は養生袋に入れてください。
- ・糊付け後は折りジワが付かないように大きいたたみ、重ね置きをしないでください。
- ・壁紙が柔らかくなってから施工してください。

3貼り付け

- ・重量があるガラスビーズ壁紙は破れないように取扱いに注意し、ゆっくり垂らして伸ばしてください。
- ・道具は柔らかい刷毛やウレタン製のソフトローラーなどを使用してください。硬い刷毛は表面を傷付けるおそれがあります。
- ・撫で付け・エア抜きはタテ方向を基本に行ってください。ヨコ方向の撫で付けは目隙の原因になりやすい為、控えてください。
- ・エア抜き作業時は骨材の剥落を防ぐ為に丁寧に行ってください。
- ・カッターナイフの刃が傷みやすいので、カットの際はこまめに刃先を替えてください。
目安：30cmごとに刃を折り、新しい刃でカットしてください。重ね切りをする場合は、下敷きテープを使用してください。
- ・ジョイント部分のローラーが当てられないベース部分は、ブラシ等で丁寧に撫で付けしてください。
- ・ローラーを強くかけたり、表面を強くこすらないでください。

4施工後

- ・施工後、一週間程度は急激な空調の使用は避け、できるだけ窓を閉めて、自然乾燥を行ってください。

冷暖房などによる急激な乾燥は、目隙やはがれの原因になります。

三巾ほど施工後、問題のないことを確認した上で作業を進めてください。

製品に欠陥が見られた場合は、購入先までご連絡をお願いします。

壁紙施工要領

抗菌防汚フィルム加工紙 ARV-521～526

A R R I V A L

規格：有効幅92cm×50m乱

リピート：-

材料区分：その他壁紙

抗菌防汚フィルム(エパール®フィルム)を表面にラミネートしてあり、付着した汚れが拭き取りやすくメンテナンス性に優れた壁紙です。一般のビニル壁紙では落ちにくい汚れに対しても水拭きや中性洗剤を使って落とすことができます。抗菌性を備えており、壁紙の表面に付着した細菌の抑制に効果があります。

▶製品についての特記事項

- ・天地マークは表面に入っています。
- ・表面のフィルムが破損すると、その部分は抗菌・防汚の機能が失われます。傷が付かないようご注意ください。表面に付着した糊は、清水で絞った布ですぐに拭き取り、最後にきれいな布で乾拭きを行ってください。糊の付着を放置すると光沢が変わって見えたり、後日変色してくることがあります。

1下地処理

- ・壁紙の厚みが薄い為、下地はできるだけ平滑に仕上げ、変色を避ける為、シーラー処理を行ってください。
- ・パテは下地材と同色のものを使用してください。

2糊付け

- ・本製品の施工には、「ウォールボンド100(原液タイプ)」をおすすめします。(※原液タイプの為、希釈しないでください。)
- ・希釈タイプの施工糊は糊メーカーの指示に従ってください。
- ・糊の付着に注意してください。
- ・表面に付着した糊は、清水で絞った布ですぐに拭き取り、最後にきれいな布で乾拭きを行ってください。
- ・施工中はジョイント部分からの糊のはみ出しに十分ご注意ください。
- ・オープンタイムは季節や室内環境により目安時間が変わりますのでご注意ください。
- ・オープンタイム 15～30分
- ・糊付け後は折りジワが付かないように大きいたたみ、重ね置きをしないでください。
- ・壁紙が柔らかくなってから施工してください。

3貼り付け

- ・道具は柔らかい刷毛やウレタン製のソフトローラーなどを使用してください。硬い刷毛は表面を傷付けるおそれがあります。
- ・撫で付け・エア抜きはタテ方向を基本に行ってください。ヨコ方向の撫で付けは目隙の原因になりやすい為、控えてください。
- ・カット断面が目立たないように、ジョイントの納め方は、一度開いて小口(断面)を合わせてローラー掛けを行ってください。
- ・ローラー掛けはしっかりと丁寧に行ってください。

4施工後

- ・施工後、一週間程度は急激な空調の使用は避け、できるだけ窓を閉めて、自然乾燥を行ってください。冷暖房などによる急激な乾燥は、目隙やはがれの原因になります。

三巾ほど施工後、問題のないことを確認した上で作業を進めてください。
製品に欠陥が見られた場合は、購入先までご連絡をお願いします。